

# *VPcamp* 手引き

獣医学アドバンスト教育プログラム構築推進委託事業

【分野 1】

家畜衛生・公衆衛生分野におけるアドバンスト教育プログラムの構築

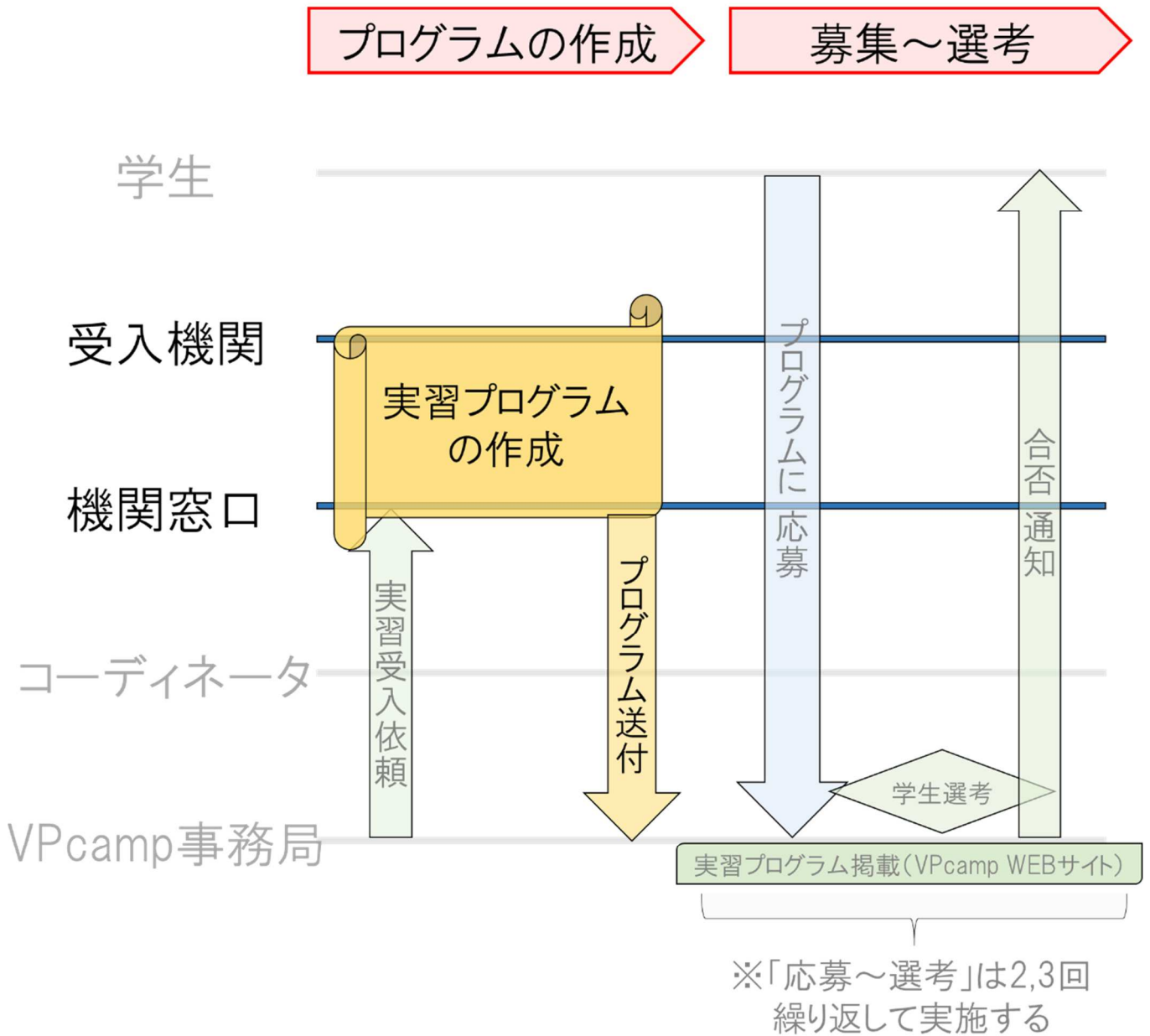
## 受入機関用

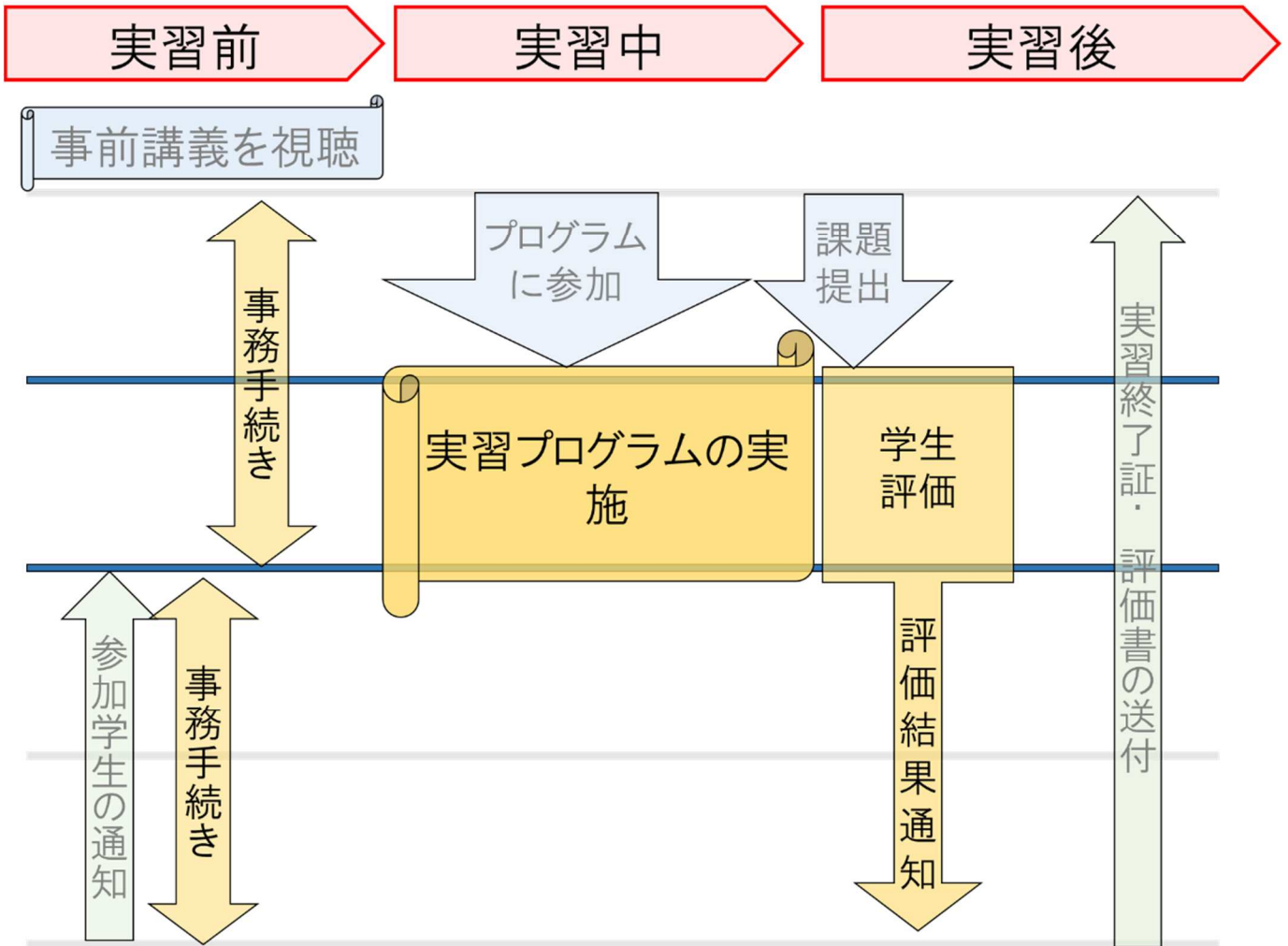
Ver.17.11

The logo for VPcamp, featuring the letters 'VP' in a stylized font above the word 'camp' in a lowercase, sans-serif font, all contained within a red square.

VP  
camp

# VPcamp 実習プログラムの運営の流れ (概略フロー図)





## 目 次

実習プログラムの作成	6
募集～選考	8
実習前	9
実習中	10
実習後	12
実習プログラム雛形	14
1. 実習目的	
2. 期間及び時期	
3. 実施場所	
4. 内容	
5. 実習プログラム例	
6. その他	
別表1 実習プログラムの例示	15
別表2 実習案	
5日間コース	17
10日間コース（1施設重点型）	19
10日間コース（2施設重点型）	20
5日間コース（ワークショップリンク型）	20
事前講義プログラム	21
実習プログラムフォーム（入力の手引き）	23
消耗品提供について	27

## 資料

資料 1	覚書 (例) . . . . .	28
資料 2	誓約書 (例) . . . . .	30
資料 3	個別評価書 . . . . .	31
資料 4	VPcamp 日誌 . . . . .	32

H29 年度スケジュール予定 . . . . .	33
--------------------------	----

## 参考

参考 1	平成 29 年度「獣医学アドバンスト教育プログラム構築推進 委託事業」(募集要項より抜粋) . . . . .	34
参考 2	実施体制 . . . . .	35
参考 3	コーディネータなど メンバー表 . . . . .	36

## 実習プログラムの作成

### ～VPcamp 事務局～

- 自治体等の家畜衛生・公衆衛生を担う機関に学生実習の依頼を行う。

### ～実習受入機関（都道府県、市など）～

- 本事業における実習受入機関となることを組織として了解する。
- プログラム雛形（p.14～20）を基に、実習プログラムの内容を作成する。
- 実習受入にあたっての参加条件、事前講義、HP への掲載内容等を決定し、「実習プログラム」記入フォームにより VPcamp 事務局に提出する。
- 提供希望の消耗品を「消耗品希望」記入フォームにより VPcamp 事務局に提出する。

### ～VPcamp 事務局～

- 届いたプログラムを VPcamp WEB サイトに順次掲載する。

### 《実習プログラムの作成にあたってご注意いただきたいこと》

#### 実習内容

実習プログラム雛形（p.14～20）を参考に、自治体・機関の特徴を活かした実習プログラムを作成してください。内容は、見学・講習にとどまらず、ラボワークやフィールドワーク（業務帯同等）を含めたものとしてください。

実習内容にアドバンスト教育プログラムとなるパートが含まれている場合は、プログラムの紹介に際して特に「アドバンスト教育プログラム」として紹介させていただきます。（p.14 参照）

また、実習場所へのアクセス方法、学生の服装や持ち物等についても具体的に検討してください。本事業では実習生に対して旅費宿泊費賃借料等の経費を支給することはできませんので、ご承知おきください。

#### 日程

基本的に、大学の夏季・春季休業期間中で、5 日間から 10 日間で設定してください。（※実習日程が 5 日間に満たない場合には、VPcamp 事務局主催ワークショップとの連携やレポートを課す等、学生の学修単位認定対象となるようご配慮ください。）

#### 課題

学生には、“毎日日誌を書く”ことを課しています。貴自治体・機関のインターンシップとしてレポート等課題が義務付けられている場合は、振替・みなしによって一本化できないかご検討ください。（※実習日程が 5 日間に満たず、実習後に別途レポートを課す場合は、提出させるレポートの課題を設定してください。）

#### 人数

できるだけ 2～10 人程度で設定してください。

**参加条件**

対象学年や履修科目、共用試験、英語能力、その他参加に必要な資格などを決定してください。

**事前講義**

学生が実習参加前に受講しておくべき事前講義プログラムを決定してください。

**事前講義 (リスト : p.21,22)**

VPcamp では、実習受入機関の業務説明の負担を軽減し実習の効果を上げるために、学生が実習参加前に実習に関連する内容の講義を受け、必要な知識を得た上で実習に臨むことを推奨しています。講義は WEB 上で受講してもらいます。1 コマ 20 分です。

講義動画プログラム URL <http://www.vetintern.jp/video/>

※ 動画視聴にはパスワードが必要です。パスワードは実習期ごとに変更しますので、内容ご検討のためにご覧になる際は、VPcamp 事務局にパスワードをお尋ね下さい。

**消耗品**

実習プログラム実施に使用する消耗品をご検討ください。予算の範囲内で提供します。ご希望に添えない場合もございますのであらかじめご了承ください。なお、サイズ・数量を実習生に合わせて提供した消耗品の使用後の扱いについては実施機関にお任せしますが、学生に物品等を支給する（未使用の状態で譲渡する）ことはできません。

**自治体・実習内容等のアピール**

募集ページで地域や実習プログラムの魅力をアピールするため、実習担当者の顔写真、実習風景などの写真、動画などがありましたら、事務局まで送付してください。また、実習タイトルや学生へのメッセージ等でもアピールを行ってください。その他に動画をはめ込む等のご希望がありましたら、事務局までご相談ください。可能な限り対応いたします。

## 募集～選考

### ～VPcamp 事務局～

- 全国の獣医系大学の学生を対象に、ポスターやチラシ等を用いて実習の実施を告知する。
- 募集期間を設定し、学生の募集を行う。
- 募集期間の終了後、コーディネータとともに応募した学生の選考を行う。
- 学生に選考結果を通知する。

### ～コーディネータ～

- 学生の選考を行う。

### ～学生～

- VPcamp WEB サイトに掲載された、各機関の実習プログラムを確認し、参加を希望するプログラムを決定する。
- 募集期間中に実習プログラムへ WEB 上から応募する。
- 選考で合格となった場合は、実習への準備を行う。
- 選考で不合格となった場合は、次の募集に再応募できる。

### 学生募集

VPcamp では、応募システムの都合上、学生は1回の募集で1箇所にはしか応募ができません。選考に漏れた学生のため、募集を3次まで設定しています。

### 学生選考

学生の選考は、受入機関からの要望や、参加動機、学年、大学間のバランス等を参考に、事務局とコーディネータが行います。選考にあたって「地元出身者を優先する」等の要望がある場合は、実習プログラム提出時に「選考の際の優先事項」としてお知らせください。



# 実習前

## ～学生～

- 合格通知後、実習受入機関の担当者より実習内容の詳細を受け取る。
- 保険加入証明書、緊急連絡先（親族・大学関係者）を事務局に提出する。
- 実習参加に必要な手続き（誓約書・履歴書等）を済ませる。
- 実習受入機関の担当者と連絡を取り合い、実習参加に当たっての疑問点等を解消しておく。
- 実習受入機関から指定された事前講義プログラムを受講し、知識を身につける。

## ～実習受入機関～

- VPcamp 事務局から参加学生の氏名・連絡先等の情報を受け取る。
- 参加学生へ直接連絡を取り、実習内容の詳細や、担当者の連絡先、宿泊施設案内等を伝える。（学生に伝えた内容は、メールの CC 等で VPcamp 事務局へもご連絡ください。）
- 参加学生との間で、実習受入に必要な手続き（誓約書や履歴書の送付等）を行う。
- VPcamp 事務局との間で、実習受入に必要な手続き（覚書の締結等）を行う。
- VPcamp 事務局から参加学生の緊急連絡先等の追加情報を受け取る。
- 参加学生に対して、実習実施時の注意点等を確認しておく。
- やむを得ず実習プログラムに大幅な変更を行う場合（日程の短縮、内容の大幅な変更など）は、直ちに学生へ連絡し、変更について了解を得て下さい。また、事務局へもその旨ご連絡ください。

## ～VPcamp 事務局～

- 参加が決定した学生の情報を、実習受入機関に送付する。
- 参加学生に傷害保険と賠償責任保険への加入証明書の提出を指示し、保険加入を確認する。
- 学生の緊急連絡先等の追加情報を、実習受入機関に送付する。
- 実習受入機関との間で、実習受入に必要な手続き（覚書の締結等）を行う。
- 参加学生に対して、実習中の注意点、課題等を再確認する。

## 実習中の保険

VPcamp では、参加学生は傷害保険と賠償責任保険への加入が義務となっています。もし、それ以外の保険への加入が必要な場合は、実習プログラム提出時に「加入すべき保険」の欄にて指示してください。

# 実習中

## ～学生～

- 実習初日、指定された場所に集合し、オリエンテーションを受ける。
- 担当者の指示に従い、プログラムに参加する。
- 毎日、実習の日誌をつける。

## ～実習受入機関～

- 実習プログラムに沿って実習を実施する。
- 実習プログラムの冒頭にはオリエンテーションを実施する
- 事故やけがの発生など緊急時には、全ての緊急連絡先に連絡するとともに、**VPcamp** 事務局にも連絡する。
- 実習終了時に、学生に日誌、課題（レポート等）の提出を指示する。  
（※提出期限は2週間以内、提出先は実習受入機関）
- やむを得ず実習プログラムに大幅な変更を行う場合（日程の短縮、内容の大幅な変更など）は、変更点に関して学生の同意を取り、代替のプログラムをご準備下さい。また、**VPcamp** 事務局にも変更の旨をご連絡ください。  
※実習プログラム変更に伴うキャンセル料等の金銭的負担の発生について、本事業は費用弁償できませんので、あらかじめご了承ください。  
（例）「日程の短縮」を行ったため、学生がすでに予約していた宿泊施設のキャンセル料が発生した。

## オリエンテーション

実習プログラムの冒頭にはオリエンテーションを実施し、以下の内容を確認・説明してください。

- ✓ 誓約書の内容の徹底
- ✓ その他の注意事項（喫煙場所・時間、立ち入り禁止場所など）の説明
- ✓ プログラムの全体構成および毎日の時間割の説明
- ✓ 指導員、その他関係者の紹介
- ✓ 参加学生の自己紹介
- ✓ 実習機関の概要についての説明
- ✓ 実習に参加する際の服装
- ✓ 昼食場所などについての情報提供
- ✓ 実習で使う場所・施設の案内

### 実習日誌(p.31)

参加学生は毎日、実習日誌をつけることが課されています。

日誌は実習終了後に学生から回収し、VPcamp 事務局に送付（スキャンデータをメールで、またはコピーを郵送）してください。

また学生の評価にも是非利用してください。

日誌は事務局で確認した後に、一部を WEB 上で公開する可能性があります。公開する際には、公開する情報を実習受入機関に前もって相談いたします。

### 実習風景の写真撮影のお願い

VPcamp では、事業の報告や広報に使用するため、実習中の風景や集合写真等の提供をお願いしております。可能な限りで結構ですので、多くの写真を撮影していただくと大変助かります。

各学生の写真掲載承諾・拒否の回答は参加学生情報としてお知らせしますので、受入機関の方で、掲載可能と判断された写真を VPcamp 事務局に送付していただくようお願いいたします。

# 実習後

## ～学生～

- 日誌・レポート等の課題を期限内に実習受入機関に提出する。
- WEB 上から「実習後アンケート（学生用）」に回答する。
- 実習終了から3ヶ月以内に、VPcamp 事務局から実習修了証と個別評価書を受けとる。
- 必要があれば、修了書・評価書を基に大学に単位の申請を行う。

## ～実習受入機関～

- 実習終了1週間後を締切目処に、学生から日誌、レポート等の課題を回収する。
- 提出課題等も参考にして学生の評価を行い（WEB から学生評価シートをダウンロードして書き込み）、事務局へメールで送付する。
- WEB 上から「実習後アンケート（受入機関用）」に回答する。
- 提出された学生の日誌を事務局へ送付する。（スキャンファイルをメールで送付、もしくは、現物コピーを郵送）
- 実習中の風景等の公開可能な写真があれば、事務局へ送付する
- 実習参加学生の態度や気づいた点などは、アンケートにご記入いただく他、メール等でも VPcamp 事務局にお知らせください。

## ～VPcamp 事務局～

- 実習受入機関による、学生の評価を基に、「個別評価書」を作成する。
- 「実習修了証」と「個別評価書」を参加学生に送付する。
- 実習受入機関より送付された学生の日誌や実習風景等を確認し、VPcamp 広報活動（HP、チラシ、メーリングリスト等）に利用する。
- 学生、実習受入機関からのアンケート結果を基に、実習システムへの改善を図る。

### 学生評価

VPcamp では、実習プログラムに参加した学生の評価を、実習を受け入れていただいた機関にお願いしております。実習先からの評価が学生の単位取得につながりますので、ご協力をお願いいたします。学生評価項目の回答は WEB 上からフォーマットをダウンロードし、行ってください。

評価項目は以下の通りです。

- ✓ 出席日数（欠席、遅刻、早退日数）
- ✓ レポート提出（有・無）
- ✓ レポートの内容評価（A 優れている・B やや優れている・C 普通・D 劣っている・E 未提出）
- ✓ 実習中の態度（A 規律正しかった・B 普通・C 規律正しくなかった）
- ✓ 実習内容の理解（A 理解できていた・B 普通・C できていなかった）
- ✓ 業務中の行動適応（A 適応していた・B 普通・C 適応していなかった）
- ✓ 意欲的姿勢（A 見られた・B 普通・C 見られなかった）
- ✓ 上記項目についての特記事項
- ✓ その他学生へのメッセージ

### WEB アンケート

VPcamp では、より円滑な運営システムを作成するため、実習受入機関にアンケートへの回答をお願いしております。是非ご協力をお願いします。

評価項目は以下の通りです。

- ✓ 受入人数
- ✓ 参加人数の適正
- ✓ 参加学生の基礎知識の適正
- ✓ 今後の実習参加学生に必要な事前講義
- ✓ 実習を通じた、知識の習得・実務経験の獲得
- ✓ 実習を通じた、就職先としての関心増大
- ✓ 実習実施の負担の適正
- ✓ 職場や職員の活性化
- ✓ 緊急連絡先の使用の有無
- ✓ 実施した実習プログラムの良い点・悪い点
- ✓ 実習先からの声（ホームページに掲載）

# 実習プログラム雛形

## 1. 実習目的

家畜衛生・公衆衛生行政を担う家畜保健衛生所、保健所、と畜場、食鳥処理場、動物愛護センター、衛生研究所などにおいて、現場における家畜衛生・公衆衛生分野の幅広い実務経験の獲得と、高度で実践的な専門知識・技術を習得する。食品安全・感染症・動物福祉のいずれかまたは2つ以上の分野の、体系的な実務経験を獲得する。

## 2. 期間および時期

1週間（5日間）又は2週間（土日をはさんで10日間）を基本とする。  
基本的に、大学の夏季休業または春季休業期間中に実施する。

## 3. 実施場所

家畜保健衛生所、保健所、と畜場、食鳥処理場、動物愛護センター、衛生研究所、家畜衛生試験場、本庁など地方公共団体及び国等の機関において行政獣医事を担う施設において実施する。

ラボワークまたはフィールドワーク実習は、1施設以上で行う。見学のみの実習は、実習の実施施設を含め2箇所以上で行うことが望ましい。

## 4. 内容

上記目標を達成するため、単に見学、講義にとどまらず、ラボワークまたはフィールドワークを含める。内容例は別表1参照。

実習内容例のうち、OIEの定義する「Day 1 Skill」の「advanced skill」に該当する等のアドバンスト教育プログラムに該当するものには★を付けて示してあります。実施可能であれば積極的に採用してください。

## 5. 実習プログラム例

別表2のとおり。

## 6. その他

平成29年度2月～3月には、VPcamp事務局主催により4回、学生を対象とした各2日間のワークショップを開催する予定です。このワークショップへの参加と受入機関での実習を組み合わせたプログラムも設定していただけます。ワークショップと実習の日程は、重なっていなければ離れていてもかまいません。

VPcamp 管理獣医学ワークショップ 2018		
日程	場所	内容
2月19～20日	東京大学構内	米国養豚管理獣医師を含む講師陣による講義・ケーススタディ・グループワーク（英語講義あり）
VPcamp 獣疫医学ワークショップ 2018		
日程	場所	内容
2月28日～3月1日	酪農学園大学構内	人獣共通感染症をテーマとした講義、アウトブレイクをテーマとしたケーススタディ、グループワーク、グループプレゼンテーション
3月5～6日	宮崎大学構内	
3月9～10日	東京農工大学構内	

## 別表 1

この表は主に地方自治体による実習プログラムの例示であり、これらの内容を必須とするものではなく、また、例示以外のプログラムの実施を妨げるものではありません。各受入機関独自の魅力的な実習プログラムを歓迎します。

アドバンスト教育プログラムに相当する内容の例を★で示します。各実習実施施設で、内容例にないアドバンスト教育プログラムに相当する内容の実習が可能であれば、積極的に提案・実施をお願いします。

### ● 家畜保健衛生所

1. 防疫対策演習（鳥インフルエンザ・口蹄疫が発生したときのシミュレーション等）への参加★
2. 病理検査の帯同・体験実習
3. ウイルス検査の帯同・体験実習
4. 生化学検査の帯同・体験実習
5. 細菌検査の帯同・体験実習
6. BSE 検査の体験実習

### ● 保健所

1. 食品衛生に係る業務の実習  
食中毒、食品衛生に関する相談の受付・調査の帯同実習  
食品関連施設の営業許可、監視指導、抜き取り検査の帯同実習  
HACCP 手法に沿った食品事業者の衛生管理指導の帯同実習★  
重大事案等緊急時の対応演習への参加★  
食品安全に係るリスクコミュニケーションの実施・運営への参加★
2. 生活衛生に係る業務の実習  
理容所、美容所、クリーニング所、旅館業、興行場、公衆浴場の監視指導の帯同実習  
水道、河川、井戸等の水質検査の帯同・体験実習
3. 感染症にかかる業務の実習
4. 薬事監視に係る業務の実習

### ● と畜場・食鳥処理場

1. 生体検査の帯同実習
2. 解体前検査の帯同実習
3. 解体後検査の帯同実習（頭部検査、内臓検査、枝肉検査の帯同実習）
4. と畜場における HACCP の実施体験実習★
5. 放射線物質検査の体験実習
6. 理化学検査の体験実習
7. 微生物検査の体験実習

● 動物愛護センター

1. 動物の保護と管理に関わる業務の実習  
動物の収容、犬猫の引取り、動物の管理、動物の譲渡、殺処分の帯同・体験実習
2. 動物愛護精神と適正飼養の普及啓発に関わる業務の帯同実習  
動物教室・イベント・講習会の開催・運営への参加  
動物取扱業、特定動物の監視・指導の帯同実習

● 衛生研究所、畜産試験場等

1. 感染症（家畜伝染病または人獣共通感染症）疫学に関わる業務の実習  
発生の認知、対応体制の整備、採材、検査、検査結果の確認、情報の公表、蔓延防止措置等一連の対策への帯同実習★（部分的でも★）、またはシミュレーション演習への参加★
2. 臨床微生物に関わる業務の実習
3. ウイルスに関わる業務の実習
4. 食品微生物に関わる業務の実習
5. 生体影響に関わる業務の実習
6. 薬品に関する業務の実習
7. 水・食品にかかわる検査業務の実習
8. 農場 HACCP 手法による農場衛生管理業務の実習★
9. 家畜のハードヘルスマネジメントの手法の普及啓発・指導業務の帯同実習★

● 本庁

1. 所管域内の家畜衛生・公衆衛生情勢の講義
2. 都道府県市条例とその背景についての講義
3. 職員獣医師の活動についての紹介
4. 家畜伝染病または人獣共通感染症にかかる防疫施策の図上演習の帯同実習★
5. リスクベースの感染症管理施策策定に係る会議への陪席

● 動物園等

1. 展示動物に係る動物福祉についての講義
2. 飼育動物の健康管理と周辺・来園者に対する防疫体制についての講義
3. 飼育動物・保護動物の健診・治療の帯同実習
4. 来園者に対する動物愛護啓発活動への参加



別表 2

## 5 日間コース

実習案 1 (5 日間の家畜保健衛生所を主体とするプログラム)

	午前		午後	
1 日目	オリエンテーション	業務説明	防疫実習 (鳥インフルエンザ防疫のシミュレーション)	
2 日目	防疫実習 (口蹄疫防疫のシミュレーション)		病理検査の体験実習	
3 日目	ウイルス検査の体験実習		生化学検査の体験実習	
4 日目	細菌検査の体験実習		BSE 検査の体験実習	
5 日目	他施設の見学		他施設の見学	

実習案 2 (5 日間のと畜場を主体とするプログラム)

	午前		午後	
1 日目	オリエンテーション	業務説明	と畜検査の講義	
2 日目	生体検査の帯同実習		解体前検査の帯同実習	
3 日目	頭部検査の帯同実習	内臓検査の帯同実習	枝肉検査の帯同実習	と畜場における HACCP 実施体験実習
4 日目	理化学検査の帯同実習		微生物学検査の帯同実習	
5 日目	他施設の見学		他施設の見学	

実習案 3 (5 日間の動物愛護センターを主体とするプログラム)

	午前		午後	
1 日目	オリエンテーション	業務説明	動物の保護と管理の帯同・体験実習 (動物の収容、犬猫の引取り、動物の管理、動物の譲渡、殺処分)	
2 日目	動物の保護と管理の帯同・体験実習			
3 日目	動物の保護と管理の帯同・体験実習		動物愛護精神と適正飼養の普及啓発の帯同・体験実習 (動物取扱業、特定動物の監視・指導の帯同実習)	
4 日目	動物愛護精神と適正飼養の普及啓発の帯同・体験実習 (動物教室、イベントへの参加、講習会)			
5 日目	他施設の見学		他施設の見学	

実習案4 (5日間の保健所を主体とするプログラム)

	午前		午後
1日目	オリエンテーション	業務説明	食品衛生に関する帯同実習 (食中毒、食品衛生に関する相談の 受付調査)
2日目	食品衛生に関する帯同実習 (食品関連施設の営業許可、監視指導、抜き取り検査)		
3日目	生活衛生に関する帯同実習 (理容所、美容所、クリーニング所、旅館業、興行場、公衆浴場監視指導)		
4日目	生活衛生に関する帯同・体験実習 (水道、河川、井戸等の水質検査)		
5日目	他施設の見学		他施設の見学

実習案5 (5日間の保健所と動物愛護センターを主体とするプログラム)

	午前		午後
1日目	オリエンテーション	保健所業務説明	食品衛生に関する帯同実習 (食中毒、食品衛生に関する相談の 受付・調査)
2日目	食品衛生に関する帯同実習 (食品関連施設の営業許可、監視指導、抜き取り検査)		
3日目	動物愛護センター業務説明	動物の保護と管理の帯同・体験実習	動物取扱業、特定動物の監視・指導の帯同実習
4日目	動物愛護精神と適正飼養の普及啓発の帯同・体験実習 (動物教室、イベントへの参加、講習会)		
5日目	他施設の見学		他施設の見学

実習案6 (5日間の家畜保健衛生所と保健所を主体とするプログラム)

	午前		午後
1日目	オリエンテーション	家畜保健衛生所業務説明	病理検査の体験実習
2日目	ウイルス検査の体験実習		生化学検査の体験実習
3日目	保健所業務説明	食品衛生に関する帯同実習 (食中毒、食品衛生に関する相談の 受付・調査)	食品衛生に関する帯同実習 (食品関連施設の営業許可、監視指導、 抜き取り検査)
4日目	食品衛生に関する帯同実習 (HACCP手法に沿った食品事業者の衛生管理指導)		
5日目	他施設の見学		他施設の見学

## 10日間コース（1施設重点型）

実習案7（10日間のと畜場を主体とするプログラム）

	午前		午後
1日目	オリエンテーション	業務説明	と畜検査の講義
2日目	生体検査の帯同実習		
3日目	解体前検査の帯同実習		
4日目	頭部検査実習の帯同実習		
5日目	内臓検査実習の帯同実習		
6日目	枝肉検査実習の帯同実習		
7日目	と畜場における HACCP の実施体験実習		放射性物質検査の体験実習
8日目	BSE 検査の体験実習	理化学的検査の体験実習	微生物学的検査の体験実習
9日目	他施設の見学		他施設の見学
10日目	他施設の見学		他施設の見学

実習案8（10日間の動物愛護センターを主体とするプログラム）

	午前		午後
1日目	オリエンテーション	業務説明	動物の保護と管理の帯同・体験実習 （動物の収容、犬猫の引取り、動物の管理、動物の譲渡、殺処分）
2日目	動物の保護と管理の帯同・体験実習		
3日目	動物の保護と管理の帯同・体験実習		
4日目	他施設の見学		他施設の見学
5日目	動物愛護精神と適正飼養の普及啓発の帯同・体験実習 （動物教室、イベントの準備・打合せ）		
6日目	動物愛護精神と適正飼養の普及啓発の帯同・体験実習 （動物教室、イベント、講習会の運営・参加）		
7日目	動物愛護精神と適正飼養の普及啓発の帯同・体験実習 （動物教室、イベント、講習会の運営・参加）		
8日目	動物の保護と管理の帯同・体験実習		
9日目	動物取扱業、特定動物の監視・指導の帯同実習		
10日目	他施設の見学		他施設の見学

## 10日間コース（2施設重点型）

実習案9（10日間の保健所と動物愛護センターを主体とするプログラム）

保健所			
	午前		午後
1日目	オリエンテーション	業務説明	食品衛生に関する帯同実習 (食中毒、食品衛生に関する相談の受付調査)
2日目	食品衛生に関する帯同実習 (食品関連施設の営業許可、監視指導、抜き取り検査)		
3日目	生活衛生に関する帯同実習 (理容所、美容所、クリーニング所、旅館業、興行場、公衆浴場監視指導)		
4日目	生活衛生に関する帯同・体験実習 (水道、河川、井戸等の水質検査)		
動物愛護センター			
5日目	オリエンテーション	業務説明	動物の保護と管理の帯同・体験実習 (動物の収容、犬猫の引取り、動物の管理、動物の譲渡、殺処分)
6日目	動物の保護と管理の帯同・体験実習 (動物の収容、犬猫の引取り、動物の管理、動物の譲渡、殺処分)		
7日目	動物愛護精神と適正飼養の普及啓発の帯同・体験実習 (動物教室、イベント、講習会への参加)		
8日目	動物取扱業、特定動物の監視・指導の帯同実習		
9日目	他施設の見学		他施設の見学
10日目	他施設の見学		他施設の見学

## 5日間コース（ワークショップリンク型）

実習案10（疫学ワークショップ参加と衛生研究所実習を主体とするプログラム）

	午前		午後
1日目	VPcamp 事務局主催「疫学ワークショップ」に参加		
2日目			
3日目	当自治体オリエンテーション	衛生研究所業務説明	病理検査の体験実習
4日目	ウイルス検査の体験実習		生化学検査の体験実習
5日目	他施設の見学		他施設の見学

# 事前講義プログラム

本事業では、参加学生に、実習参加前に参加者必修講義及び実習に関連する内容の講義を受け、必要な知識を得てから実習に参加することを求めています。講義は1コマ20分で、WEB上で受講してもらいます。現在、下表のライブラリがあり、必要に応じて随時追加・更新しています。

事前講義プログラム <http://www.vetintern.jp/video/> \*視聴にはパスワードが必要です。

事前講義[H29.11.14現在]				
講義タイトル	講師	収録年	講義数	
0.参加者必修講義				
VPcamp参加にあたって～実習を受ける際の心得～実習チェックリスト	東京大学 杉浦勝明	28	1	
1.獣医公衆衛生行政・法規				
14				
1-1 公衆衛生と獣医師	一般財団法人 日本冷凍食品検査協会 加地祥文	26		
1-2 獣医公衆衛生行政の仕組み	一般財団法人 日本冷凍食品検査協会 加地祥文	26		
1-3 公衆衛生行政のための法律 総論 I (食品衛生法、と畜場法、食鳥検査法)	一般財団法人 日本冷凍食品検査協会 加地祥文	26		
1-4 公衆衛生行政のための法律 総論 II (感染症法)	一般財団法人 日本冷凍食品検査協会 加地祥文	26		
1-5 日本の食品安全行政のしくみ	内閣府 食品安全委員会 小財恵	26		
1-6 食品安全のリスク評価について	内閣府 食品安全委員会 松下茜	26		
1-7 (仮題)HACCP手法の考え方	国立保健医療科学院 温泉川肇彦	作成中		
1-8 保健所・食肉衛生検査所の業務内容	一般財団法人 日本冷凍食品検査協会 加地祥文	26		
1-9 食品衛生監視員の役割	東京家政大学 森田幸雄	26		
1-10 と畜検査員の役割およびと畜処理	東京家政大学 森田幸雄	26		
1-11 と畜場で全部廃棄・部分廃棄になる疾病	東京家政大学 森田幸雄	26		
1-12 動物愛護管理行政について	環境省 今西保	26		
1-13 狂犬病予防業務 動物愛護管理業務について	東京都 動物愛護相談センター 新井 英人	27		
1-14 「食鳥検査」について	宮崎県 福祉保健部衛生管理課 下村高司	27		
1-15 食鳥処理場における衛生管理 (HACCPを含む)	宮崎県 福祉保健部衛生管理課 下村高司	27		
2.家畜衛生行政・法規				
10				
2-1 最近の家畜衛生をめぐる情勢について (国内防疫 I)	農林水産省 石川清康	28		
2-2 最近の家畜衛生をめぐる情勢について (国内防疫 II)	農林水産省 石川清康	28		
2-3 家畜衛生行政 動物検疫 (輸出入検疫)	農林水産省 伏見啓二	27		
2-4 動物薬事行政 I	麻布大学 平山紀夫	27		
2-5 動物薬事行政 II	麻布大学 平山紀夫	27		
2-6 家畜保健衛生所の役割	愛知県 家畜保健衛生所 神谷俊樹	27		
2-7 家畜防疫員の責務	愛知県 家畜保健衛生所 神谷俊樹	27		
2-8 動物検疫所について	農林水産省 伊藤和夫	28		
2-9 動物検疫	農林水産省 伊藤和夫	28		
2-10 動物検疫所の獣医師の責務	農林水産省 伏見啓二	27		
3.食品安全				
8				
3-1 と畜場で防いでいる人獣共通感染症について	東京家政大学 森田幸雄	26		
3-2 と畜場HACCPについて	東京家政大学 森田幸雄	26		
3-3 食肉の対米・対EU輸出	東京家政大学 森田幸雄	26		
3-4 農場HACCPの概要	那須イーテイ研究所 西貝正彦	27		
3-5 農場HACCP認証審査について	那須イーテイ研究所 西貝正彦	27		
3-6 食品由来感染症の概要	国立医薬品食品衛生研究所 五十君静信	27		
3-7 野生鳥獣肉の衛生対策 (1)	日本大学 壁谷英則	28		
3-8 野生鳥獣肉の衛生対策 (2)	日本大学 壁谷英則	28		
3-9 (仮題)食品事業者HACCPについて	ロイドレジスタージャパン 今城敏	作成中		
4.感染症防疫				
7				
4-1 人獣共通感染症と新しい獣医師の役割 I	千葉科学大学 吉川泰弘	26		
4-2 人獣共通感染症と新しい獣医師の役割 II	千葉科学大学 吉川泰弘	26		
4-3 アルボウイルス感染症	国立感染症研究所 高崎智彦	27		
4-4 家畜に分布する薬剤耐性菌の現状と対策	岐阜大学 浅井鉄夫	27		
4-5 動物に由来する薬剤耐性菌	岐阜大学 浅井鉄夫	28		
4-6 愛玩動物由来感染症	国立感染症研究所 今岡浩一	27		
4-7 狂犬病ウイルスについて	国立感染症研究所 井上智	28		
5.動物福祉				
2				
5-1 小動物診療分野で期待する職業倫理 I	獣医療問題研究会 山村穂積	26		
5-2 小動物診療分野で期待する職業倫理 II	獣医療問題研究会 山村穂積	26		
5-3 災害時動物マネジメント (資料のみ)	新潟県動物愛護センター 遠山潤	(27)		
6.畜産資材				
10				
6-1 動物用ワクチンについて	麻布大学 平山紀夫	26		
6-2 ペットの食の安全確保 ペットフードの種類と市場	獣医療法食評価センター 藤井立哉	26		
6-3 ペットの食の安全確保 ペットフードの製造と品質管理	獣医療法食評価センター 藤井立哉	26		
6-4 薬剤耐性(AMR)対策アクションプラン	動物医薬品検査所 山本実	28		
6-5 配合飼料の製造と品質管理 -牛用配合飼料を中心に-	雪印種苗株式会社 多田真一	28		
6-6 飼料原料となる穀物の需給 (1)	関東グレンターミナル株式会社 大盛浩典	28		
6-7 飼料原料となる穀物の需給 (2)	関東グレンターミナル株式会社 大盛浩典	28		
6-8 農場のバイオセキュリティ (1)	株式会社スワイン・エクステンション&コンサルティング 大竹聡	28		
6-9 農場のバイオセキュリティ (2)	株式会社スワイン・エクステンション&コンサルティング 大竹聡	28		
6-10 養豚管理獣医師の業務と役割 ~養豚場へのコンサルティング~	有限会社サミットベテリナリーサービス 石関紗代子	28		

事前講義プログラム

7.獣医学			5
7-1	はじめに	東京大学 杉浦勝明	27
7-2	牛白血病の疫学調査	動物衛生研究所 小林創太	27
7-3	生産現場のデータを用いた疫学研究	酪農学園大学 中田健	27
7-4	動物感染症とシミュレーションモデル	動物衛生研究所 山本健久	27
7-5	ペット保険データを用いた疫学研究	アニコム損害保険株式会社 井上舞	27
8.馬の臨床学			8
8-1	馬の臨床学総論	日本中央競馬会(JRA) 競走馬総合研究所 上野儀治	25
8-2	馬の構造特性	日本中央競馬会(JRA) 競走馬総合研究所 桑野睦敏	25
8-3	馬の臨床学総論と競馬におけるドーピング	日本中央競馬会(JRA) 競走馬総合研究所 上野儀治	25
8-4	馬の運動器疾患	日本中央競馬会(JRA) 競走馬総合研究所 笠嶋快周	25
8-5	馬の循環器・呼吸器疾患	日本中央競馬会(JRA) 競走馬総合研究所 大村 一	25
8-6	馬の消化器・眼科疾患	日本中央競馬会(JRA) 競走馬総合研究所 和田信也	25
8-7	臨床繁殖学・産科学	日本中央競馬会(JRA) 日高育成牧場 南保泰雄	25
8-8	馬感染症総論	日本中央競馬会(JRA) 競走馬総合研究所 奥河寿臣	25
9.国際獣疫事務局(OIE)アジア太平洋地域事務所			5
9-1	OIE入門-獣医学を志す学生のために-	OIEアジア太平洋地域代表 釘田博文	28
9-2	OIEの役割と活動(1)-動物疫病情報の収集提供-	OIEアジア太平洋地域代表 釘田博文	28
9-3	OIEの役割と活動(2)-国際基準の設定-	OIEアジア太平洋地域代表 釘田博文	28
9-4	OIEの役割と活動(3)-科学的ネットワーク-	OIEアジア太平洋地域代表 釘田博文	28
9-5	OIEの役割と活動(4)-各国・地域への支援-	OIEアジア太平洋地域代表 釘田博文	28
10.その他			5
10-1	家畜改良増殖目標について	農林水産省 菊池淳志	27
10-2	酪農及び肉用牛生産の近代化を図るための基本方針について	農林水産省 鈴木恭人	27
10-3	アフリカ豚コレラ～養豚産業への世界的脅威～	サンチエス・ヴィスカイノ教授	27
10-4	The training of official veterinarians in France. I	Professor Marc ARTOIS	26
10-5	The training of official veterinarians in France. II	Professor Marc ARTOIS	26
7 8 講義 (再収録 4 講義を含む)			75

## 実習プログラムフォーム（入力の手引き）

	ホームページへの対応	項目	摘要
		実習機関・自治体名称	ここではフォントは一律となります。フォント指定やロゴマークについては3または5欄に記入してください。
1	公開	キャッチフレーズ	目立つもの、学生の興味をひくものをお願いします。
2	公開	「獣医学生へのメッセージ」欄内容	実習生を募集する際に学生へアピールしたいこと、実習担当者からのメッセージとして、地域の魅力や実習プログラムの特徴を記入してください。基本的に記入いただいたままの内容で掲載します。
3	公開 (任意)	トレードマーク、ロゴ、担当者の顔写真や実習をアピールする写真のご提供をお願いします	枚数と内容をご記入のうえ、画像データはメールで vpcamp@vetintern.jp にお送りください。添付するデータが複数ある場合は、どの欄に該当するデータか分かるように添付ファイルの名称を付けてください。1本のメール容量はメール全体で20MB程度にしてください。
4	公開 (任意)	実習機関・自治体や、実習施設のホームページのURL	掲載すると、閲覧への誘導になります。
5	公開 (任意)	実習をアピールするムービーやその他の特別なコンテンツがあればお知らせください	データファイルはメールで vpcamp@vetintern.jp にお送りください。容量等により掲載困難な場合はご相談します。
6	公開	実習日程(日数)	2月中旬から3月末までの期間で、断続的でも土日祝日を含んでもかまいませんが、できるだけ5日以上の設定にしてください。複数の日程を設定される場合は、日程ごとに1つのプログラムとしてシートを分けて作成してください。
7	公開	実施場所①名称と所在地 実施場所②名称と所在地 実施場所③名称と所在地 実施場所④名称と所在地 実施場所⑤名称と所在地 実施場所⑥名称と所在地	例：△△保健福祉事務所(△△保健所)：△△市材木町1-2-6 複数施設での実習の場合、日程順に記入してください。見学のための施設で、職員が引率して下さる場合はここには記入不要です。記入フォームはそのままHP掲載データに変換しますので、記入欄が足りない場合や余った場合、行の挿入・削除はしないでください。欄が不足する場合は、フォーム提出の際、送信メール本文に記入しておいてください。
8	公開	実習開始日の集合日時場所	例：3月10日9:00に△△保険福祉事務所の正門にて集合
9	公開	実習場所までのアクセス方法	最寄り駅、バス路線名・行先、停留所名、下車からの徒歩経路等、わかりやすく示してください。ホームページに地図等があればURLを記入してください。
10	公開 (任意)	宿泊施設の案内	基本的に学生が自身で手配します。確保に困難がある等のヒントがあれば助かります。指定や提供する施設がある場合は記入してください。
11	公開	実習参加時の服装	サイト移動ごとに着替えが要る等の場合はお書きください。
12	公開	実習参加時の持ち物	白衣、長靴、タオル、聴診器、筆記用具等も指示してください。

13

公開

実習プログラム詳細

文章		内容的にアドバンスプログラムとなる事項の頭に★を付けてください。 <b>記入フォームはそのまま HP 掲載データに変換しますので、フォームの行の挿入・削除はしないでください。</b> 1つのセルに複数の項目を記入する際は、「Alt+⇐」キーで改行してください。 例： △△保健福祉事務所(△△保健所) ・食品衛生、動物愛護、狂犬病予防関係業務概要説明 ★食品製造施設 HACCP 指導帯同 ・動物の収容施設で収容動物の健康チェック帯同 等  △△食肉衛生検査所 ・と畜検査業務概要説明 ・と畜検査現場帯同体験 ・検査室内検査(細菌、理化学、BSE等)体験 等  動物愛護センター ・動物愛護業務概要説明 ・動物ふれあい体験 ・動物の飼養管理体験 ・動物の健康管理体験 等	
	1 日目	場所 午前 午後	△△保健福祉事務所 食品衛生関係業務概要説明 動物愛護・狂犬病予防関係 業務概要説明 動物収容施設帯同 ★食品製造施設指導帯同
	2 日目	場所 午前 午後	△△食肉衛生検査所 と畜検査業務概要説明 検査室内検査体験(細菌検査、理化学検査、BSE 検査等) 検査室内検査体験 (細菌検査、理化学検査、BSE 検査等)
	3 日目	場所 午前 午後	△△食肉衛生検査所 と畜検査現場体験 (生体検査、解体検査等) と畜検査現場体験 (生体検査、解体検査等)
	4 日目	場所 午前 午後	動物愛護センター センター業務概要説明 動物の飼養管理 体験 犬の行動学習とトレーニング体験
	5 日目	場所 午前 午後	動物愛護センター 動物の健康管理体験 動物ふれあい(教室)体験
	6 日目	場所 午前 午後	6日目以降もある場合は記入してください。フォームには10日分の欄を用意しましたが、足りない場合は、フォーム提出の際、11日目以降を送信メール本文に記入しておいてください。



14	公開	受入人数をお知らせください	プログラムの受入人数の上限を記入してください。
15	公開	実習の対象学年をお知らせください	実習内容や機関の意図に応じて設定してください。学部生は1～6年生、大学院生も対象にできます。
16	公開 (任意)	実習後にレポートを学生に課す場合はその課題をお知らせください	できるだけ具体的なテーマを与えてください。
17	公開 (任意)	必要な英語能力があればお知らせください	国際業務以外でも、実習施設の業務に外国語話者対応がある等、実習中に必要があれば記入してください。
18	公開 (任意)	必要履修科目があればお知らせください	実習内容を理解・達成するために、対象学年の指定とは別に、特定の科目が履修済みであることが条件になる場合は記入してください。
19	公開 (任意)	その他参加に必要な資格等があればお知らせください	共用試験の合格、アレルギー関係、動物の扱い慣れのレベル、実習施設まで自家用車等で通えること、等必要に応じて記入してください。
20	公開	実習生が視聴しておくべき事前講義プログラムを番号でお知らせください	事前講義リスト(p.21-22)の題名左の番号(1-1～10-5)で記入してください。必須と推奨を分けても結構です。
21	公開 (任意)	実習生から実習機関への提出書類(誓約書など)があればお知らせください	貴機関に規定の書式がある場合は、ファイルをメールで vpcamp@vetintern.jp にお送りください。
22	非公開 情報 (任意)	事務局から実習機関への提出書類(覚書や依頼書など)があればお知らせください	覚書の書式は資料1(p.29)を基本としています。貴機関に規定の書式がある場合は、ファイルをメールで vpcamp@vetintern.jp にお送りください。
		事務局から実習機関に提出する覚書は、原則として実習機関の長とチーフコーディネータ間のものとなります。実習生の署名等を含めた形のものが必要な場合はお知らせください	実習機関の長・チーフコーディネータ・実習生の三者間の覚書となる場合は、実習生1名ごとに1通となります。ご承知おきください。
23	公開	実習生があらかじめ加入すべき傷害保険の種類(学生がケガをした場合の保障)	例: 「学生教育研究災害傷害保険」(JEES)もしくは「学生総合共済(生命共済)」(大学生協)もしくはこれらと同等のもの
24	公開	実習生があらかじめ加入すべき賠償責任保険の種類(学生が実習機関のものを壊したり、損害を加えた場合の保証)	例: 「学研災付帯賠償責任保険」(JEES)もしくは「学生賠償責任保険」(大学生協)もしくはこれらと同等のもの
25	非公開 情報 (任意)	実習生から緊急連絡先と保険加入証明書以外の提出を求める場合は、原則実習生と実習機関が直接やり取りをしてください。もし、直接のやり取りが不可能な場合は連絡方法をお知らせください	実習生の緊急連絡先・保険加入証明書(写)は事務局から 欄のご担当者様にメールでご連絡します。それ以外の貴機関で要する提出書類の提出先が庁内他課等である場合、所在地・部課名・ご担当者名・メールアドレス等、提出に必要な事項をご指示ください。
26	公開 (任意)	公開してもよい問合せ先があればお知らせください	所名・ご担当者名・電話番号・メールアドレス等、任意です。公開すると、ホームページを見た学生から、実習についての問合せが寄せられることが想定されます。

27	非公開 情報	実習窓口の方のお名前①	VPcamp 事務局との連絡窓口になってくださるご担当者様をご記入ください。ホームページでは公開しません。
		担当課①	
		電話①	
		メールアドレス①	
		実習窓口の方のお名前②	
		担当課②	
		電話番号②	
		メールアドレス②	
28	非公開 情報 (任意)	選考の際の優先事項	非公開情報です。「県内出身者を優先する」「本県採用試験受験予定者を優先する」等の事項を記入してください。選考の際はこの優先事項に該当する応募者から選定します。「限定」条件としての設定は、できるだけご遠慮ください。
29	非公開 情報	事務局から実習機関へ供給を希望する消耗品(試薬、被服など)の有無	この欄に有無をご記入のうえ、内容は後日、別ファイル「消耗品希望」でご提出ください。(記入の際は p.27 参照)
30	非公開 情報 (任意)	その他(予備記入欄)	

## 消耗品提供について

実習プログラムに使用する消耗品のうち、提供を希望されるものを「消耗品希望」フォームにてお知らせください。半リスト式としております。実習プログラムの提出とは別に締切を設定しますので、実習内容に応じた必要性を検討の上ご提出ください。

実習生が決まりましたら、各実習機関へ提供可能な消耗品をご連絡します。予算の都合によりご希望に添えない場合もありますので、あらかじめご了承ください。基本的に、実習開始までに納品します。

リストにある品目は、実習生のサイズ・人数に合わせたものを実習実施施設に提供しますが、本事業の消耗品提供は実習実施施設の負担軽減の趣旨で行うものであり、実習生の便宜を図るものではありませんので、提供された物品を実習に使用せずに実習生に持ち帰らせることはできません。また、実習終了後の残余の取扱いについては、実習機関にお任せします。ご不明の点はVPcamp事務局までお問合せください。

●消耗品をお送りする実習実施施設 (送付先が複数にわたる場合には、送付先ごとに別シートで作成してください)								
所在地	〒							
電話番号								
組織名								
部署名								
ご担当者様								
●希望する消耗品 (ピンクの品目は「希望」欄に○、緑の品目は数量と優先順位を記入してください。リスト以外のものはオレンジ色の欄に記入してください。メーカー等特に指定がないものや価格不明の場合は空欄で構いません。)								
希望	品名	メーカー	仕様	サイズ	単価	数量	価格 (自動計算)	備考
	白長靴			採用実習生用		人数分		
	白衣コート			採用実習生用		人数分		
	ケシー型白衣			採用実習生用		人数分		別仕様指定の場合は
	スクラブウェア			採用実習生用		人数分		オレンジ色の欄に
	スクラブパンツ			採用実習生用		人数分		優先順に記入して
	オールインワン (つなぎ)			採用実習生用		人数分		ください。
優先順位	品名	メーカー	仕様	サイズ	単価	数量	価格 (自動計算)	備考
	ラテックスグローブ			XS				別仕様指定の場合は
	ラテックスグローブ			S				オレンジ色の欄に
	ラテックスグローブ			M				優先順に記入して
	ラテックスグローブ			L				ください。
	不織布ディスポキャップ							
	使い捨てシューズカバー							
	タイベック防護服 (つなぎ)							
	不織布白衣							
	サージカルマスク							
優先順位	品名	メーカー	型番	仕様	単価	数量	単価×数量+税	備考
記入例	サルモネラ免疫血清h-	デンカ	211538	5ml	6000	1	6480	要クール便(要冷蔵)
記入例	マスク			1箱50枚入り	650	1	702	汎用品可
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								

消耗品リスト

## 資料 1

## 覚書(例)

## 〇〇〇〇における実習・インターンシッププログラムに関する覚書

〇〇〇〇と文部科学省「獣医学アドバンスト教育プログラム構築推進委託事業 分野1 家畜衛生・公衆衛生分野におけるアドバンスト教育プログラムの構築」チーフコーディネータ（以下「チーフコーディネータ」という。）は、別記名簿に記載されている学生（以下「学生」という。）が、〇〇〇〇において実習・インターンシッププログラム（以下「実習」という。）を行うことについて、下記のとおり覚書を締結する。

## 記

## 第1 実習実施に係る基本的役割等

〇〇〇〇は、別記のとおり学生を就業体験実習生として受け入れ、学生に対し必要な指導・助言を行う。チーフコーディネータは学生に対し、本覚書に定める事項を周知するとともに、円滑な実習を進めるため必要な指導及び監督を行う。

## 第2 実習時間、手当等の支給及び事故への対応等

- (1) 実習時間は、午前8時30分から午後5時まで（以下「定時」という。）とする。このうち午後0時から午後1時までを休憩時間とする。なお、定時以外にも若干の実習を行うことがある。
- (2) 〇〇〇〇は、実習中、学生に対し、通勤費（自宅及び滞在先より）、手当（日当）、食費及び旅費（滞在先までの往復旅費）を支給しない。
- (3) チーフコーディネータは、学生に傷害保険及び賠償責任保険に加入させ、学生が実習中において関係他者（〇〇〇〇、人物、財物等）に損害、損傷を与えた場合は、当該保険により補償する。

## 第3 実習中における遵守事項等

- (1) 学生は、実習に関して指導員の指示に従い、実習期間中は実習に専念し、公務の信用を傷つけ、又は公務員全体の不名誉となるような行為を行ってはならない。
- (2) 実習の欠務は、正当な事由による場合以外は認めない。やむを得ず欠務する場合は、事前に指導員に申し出て、その指示に従うこととする。正当な事由による場合であっても2日以上欠務した場合、〇〇〇〇は、実習を打ち切ることができることとする。
- (3) 学生は、〇〇〇〇における実習活動中に知り得た情報（公開されているものを除く。）の開示については、指導員の指示に従わなければならない。実習終了後においても、同様とする。
- (4) 学生は、実習の成果を論文等により外部へ発表する場合には、事前に〇〇〇〇長の承認を受けなければならない。
- (5) 〇〇〇〇は、学生がこの覚書に従わない場合、その他実習を継続しがたい事由が生じた場合は実習を打ち切ることができる。〇〇〇〇は、実習を打ち切った場合は、速やかにチーフコーディネータにその旨を通知する。

## 第4 誓約書の提出

学生は、実習に先立ち、〇〇〇〇に対して誓約書を提出する。

## 第5 協議

本覚書に定めがない事項又は本覚書に疑義が生じた事項については、〇〇〇〇とチーフコーディネータが協議の上決定するものとする。

本覚書の締結を証するため、本書2通を作成し、〇〇〇〇及びチーフコーディネータが捺印の上それぞれ1通を保管するものとする。

平成 年 月 日

（日付は、空欄。当方において本覚書を受領した日付を記入し、貴職へ返送致します。）

〇〇〇〇長

〇〇〇〇 印

文部科学省「獣医学アドバンスト教育プログラム構築推進委託事業」  
分野1 家畜衛生・公衆衛生分野におけるアドバンスト教育プログラムの構築  
チーフコーディネータ 杉浦勝明 印

(別記名簿)

文部科学省 獣医学アドバンスト教育プログラム構築推進委託事業 就業体験実習生

所属 (学年)	住所	氏名
〇〇大学 (〇年)		〇〇〇〇 (〇〇〇〇)

## 誓 約 書 (例)

資料 2

〇〇〇〇〇長 殿

〇〇〇〇〇においてインターンシッププログラムを受けるに当たり、〇〇〇就業体験実習実施要領等を理解し、実習生として下記のとおり遵守することを誓約します。

### 記

- 1 実習期間中は専ら所定の実習に従事し、実習目的の達成に努めること。
- 2 実習期間中は〇〇〇〇〇職員が遵守すべき法令及び規則を守るとともに、実習生としての活動について指導員の指導、監督等に従うこと。
- 3 実習期間中は、特定の政治政党、宗教、企業、団体の利益のための行為を行わないこと。
- 4 〇〇〇〇〇における実習活動中に知り得た情報（公開されているものを除く。）の開示については、指導員の指示に従うこと。実習終了後においても、同様とすること。
- 5 実習の成果を論文等により外部へ発表する場合には、事前に〇〇〇〇〇長の承認を受けること。
- 6 病気等のため予定されていた実習を受けられない場合は、あらかじめ、指導員にその旨を連絡すること。やむを得ない場合は、事後速やかに指導員にその旨を連絡すること。

平成 年 月 日

大 学 名 学 生 氏 名 ㊟

# 個別評価書

タイトル			
自治体			
実習実施機関			
評価機関			
評価者氏名			
学生氏名			
学生所属	大学名：		
	在籍学年：		
	所属講座：		
事前講義	講義名：		
	講義名：		
	講義名：		
レポート	課題：		
	レポートの評価：		
	特記事項：		
実習期間	2015年 月 日		～ 2015年 月 日
出席状況	出席日		欠席日
	遅刻日		早退日
評価項目	評価	特	記 事 項
規律正しい態度であり、 実習中支障がなかった	A ・ B ・ C		
	A 規律正しかった		
業務内容の的確な理解が できていた	A ・ B ・ C		
	A 理解できていた		
業務内容に適応した行動 であった	A ・ B ・ C		
	A 適応していた		
目的意識をもって意欲的 に取り組む姿勢が見られ た	A ・ B ・ C		
	A 見られた		
メッセージ：			
その他：			

## 資料 4

## VPcamp 日誌

資料

第 日	月 日 ( ) : ~ :
実習部門 (実習場所)	
実習指導者の 役職・氏名	
実習のテーマ・ 課題	
実習概要 (実習した業務、手順、内容など)	
特記事項 (学んだこと、反省点、明日の予定など)	



# H29 年度スケジュール予定

	学生の動き							参加自治体の動き							事務局の動き																
4月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
関係機関との協議 / 夏の実習プログラムの作成・提出																															
VPcamp実習の説明・依頼 / 事前講義収録																															
5月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
関係機関との協議 / 夏の実習プログラムの作成・提出																															
VPcamp実習の説明・依頼 / 事前講義収録 / ポスター / チラシ																															
ホームページの更新・実習実施機関の情報掲載																															
6月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1次募集																															
1次 学生選考																															
2次募集																															
2次 学生選考																															
実習受け入れに伴う事務手続き・必要書類のやり取り / 実習準備																															
選考結果通知 / 参加学生への連絡等 / ホームページへの実習実施機関の情報掲載 / 事務手続き																															
7月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
2次募集																															
3次募集																															
3次 学生選考																															
実習受け入れに伴う事務手続き・必要書類のやり取り / 実習準備 / 学生への連絡																															
選考結果通知 / 参加学生への連絡等 / ホームページへの実習実施機関の情報掲載 / 事務手続き																															
8月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
VPcamp夏の実習 実施期間																															
実習準備 / 実習開催 / 実習後評価アンケートの提出																															
実習機関・参加学生への各種連絡など / 実習視察																															
9月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
VPcamp夏の実習 実施期間																															
実習準備 / 実習開催 / 実習後評価アンケートの提出																															
実習機関・参加学生への各種連絡など / 実習視察 / 協議会 / 公費共																															
10月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
(実習後評価) / 関係機関との協議 / 春の実習プログラムの作成・提出																															
H29年度第1回コーディネータ会議 / 夏の実習の報告まとめ / 自治体等へ実習実施依頼 / ホームページの更新・実習実施機関の情報掲載																															
11月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
関係機関との協議 / 春の実習プログラムの作成・提出																															
自治体等へ実習実施依頼 / ホームページの更新・実習実施機関の情報掲載																															
12月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
春の実習プログラムの作成・提出																															
1次募集																															
実習受け入れに伴う事務手続き・必要書類のやり取り / 実習準備																															
ホームページの更新・実習実施機関の情報掲載																															
1月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
1次募集																															
1次 学生選考																															
2次募集																															
2次 学生選考																															
3次募集																															
3次 学生選考																															
実習受け入れに伴う事務手続き・必要書類のやり取り / 実習準備																															
選考結果通知 / 参加学生への連絡等 / ホームページへの実習実施機関の情報掲載 / 事務手続き																															
2月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	1	2	3
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
VPcamp春の実習 実施期間																															
実習受け入れに伴う事務手続き・必要書類のやり取り / 実習準備 / 実習開催 / 実習後評価アンケートの提出																															
選考結果通知 / 実習機関・参加学生への連絡																															
3月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
VPcamp春の実習 実施期間																															
実習準備 / 実習開催 / 実習後評価アンケートの提出																															
実施機関・参加学生への連絡 / 最終年度報告書作成 / H29年度第2回コーディネータ会議・シンポジウム																															

スケジュール表

## 参考 1

### 平成 29 年度「獣医学アドバンス教育プログラム構築推進委託事業」 (募集要項より抜粋)

#### 事業の趣旨

動物衛生と食品の安全性の確保は、国民の健康的な生活を守る上で極めて重要であり、家畜の生産、食品の生産・加工・流通・消費が多様化していることから、食品の安全を確保するため、より迅速かつ効果的にリスクを評価し、適切に管理する必要がある。このため、単に動物の健康や食の安全の確保にとどまらず、人の健康を保障する意味でも、国際的な防疫体制の強化は極めて重要な課題となっている。

これらを踏まえ、本事業は、国際水準の動物・畜産物の安全性確保に関わる即戦力となる獣医師を養成するため、獣医学生 of 専門的能力向上に向けた獣医学アドバンス教育プログラムを構築し、獣医学教育の高度化・国際水準化を図るとともに、農畜産業における国際競争力の強化に資することを目的とする。

#### 事業の内容

教育機関と関係機関等(家畜保健衛生所、保健所、家畜診療所等)が連携し、家畜衛生・公衆衛生分野及び産業動物臨床分野における高度獣医療技術の習得を目的とした、先導的かつ実践的な教育プログラム(獣医サービスの構築、感染症管理、リスクベースの食品衛生等)を構築し、全国の獣医学系大学への成果の公表・普及を図ることにより、獣医学教育の高度化・国際水準化を推進する。

#### 【分野 1】

家畜衛生・公衆衛生分野におけるアドバンス教育プログラムの構築  
(代表校： 東京大学)

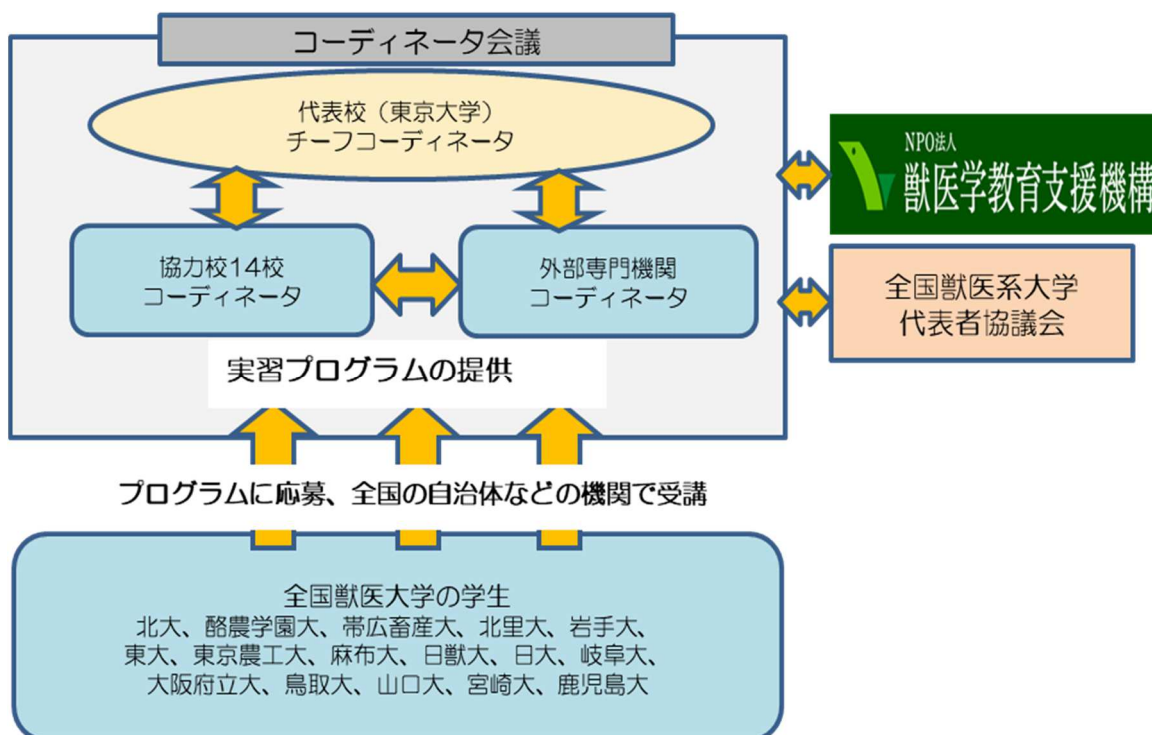
#### 【分野 2】

産業動物臨床分野におけるアドバンス教育プログラムの構築  
(代表校： 岐阜大学)

参考 2

## 実施体制

獣医学アドバンスト教育プログラム構築推進委託事業  
【分野 1】 家畜衛生・公衆衛生分野における  
アドバンスト教育プログラムの構築



参  
考

【事務局】 東京大学大学院 農学生命科学研究科農学国際専攻国際動物資源科学研究室

〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1

Tel : 03-5841-5383

E-mail : vpcamp@vetintern.jp

参考 3

コーディネーターなど メンバー表

	役割	所属	氏名	メールアドレス
1	チーフコーディネーター	東京大学	杉浦 勝明	aksugiur@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp
2	コーディネーター	北海道大学	苅和 宏明	kariwa@vetmed.hokudai.ac.jp
3	コーディネーター	帯広畜産大学	廣井 豊子	tykhiro@obihiro.ac.jp
4	コーディネーター	岩手大学	村上 賢二	muraken@iwate-u.ac.jp
5	コーディネーター	岩手大学	佐藤 繁	sshigeru@iwate-u.ac.jp
6	コーディネーター	農工大学	白井 淳資	jshirai@cc.tuat.ac.jp
7	コーディネーター	農工大学	藤川 浩	fujik@cc.tuat.ac.jp
8	コーディネーター	農工大学	竹原 一明	takehara@cc.tuat.ac.jp
9	コーディネーター	東京大学	望月 学	amm@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp
10	コーディネーター	東京大学	堀 正敏	ahori@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp
11	コーディネーター	東京大学	芳賀 猛	ahaga@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp
12	コーディネーター	東京大学	平山 和宏	akazu@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp
13	コーディネーター	東京大学	桑原 正貴	akuwam@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp
14	コーディネーター	東京大学	高畑 菜穂子	antakahata@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp
15	コーディネーター	岐阜大学	伊藤 直人	naotoito@gifu-u.ac.jp
16	コーディネーター	鳥取大学	伊藤 壽啓	toshiito@muses.tottori-u.ac.jp
17	コーディネーター	山口大学	豊福 肇	toyofuku@yamaguchi-u.ac.jp
18	コーディネーター	鹿児島大学	中馬 猛久	chuma@vet.kagoshima-u.ac.jp
19	コーディネーター	宮崎大学	後藤 義孝	a0d502u@cc.miyazaki-u.ac.jp
20	コーディネーター	大阪府立大学	岡田 利也	okada@vet.osakafu-u.ac.jp
21	コーディネーター	酪農学園大学	樋口 豪紀	higuchi@rakuno.ac.jp
22	コーディネーター	北里大学	上野 俊治	ueno@vmass.kitasato-u.ac.jp
23	コーディネーター	日本大学	壁谷 英則	kabeya.hidenori@nihon-u.ac.jp
24	コーディネーター	日本獣医生命科学大学	落合 由嗣	yochiai@nvl.u.ac.jp
25	コーディネーター	全国公衆衛生獣医師協議会	中村 重信	Shigenobu_Nakamura@member.metro.tokyo.jp
26	事務補佐員	東京大学	川崎 麻衣	Kawasaki.mai@mail.e-tokyo.ac.jp

## VPcamp 事務局

〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1

東京大学大学院 農学生命科学研究科

農学国際専攻 国際動物資源科学研究室

TEL 03-5841-5383 MAIL [vpcamp@vetintern.jp](mailto:vpcamp@vetintern.jp)

<http://www.vetintern.jp/>